

## 令和6年度（2024年度）はこだてスマートムーブデーの実施状況について（報告）

- 1 実施日 毎月第1金曜日
- 2 参加団体数 71団体（団体職員数（会員数）計7,543人）  
※参加団体の名称は、別紙「参加団体一覧表」を参照

### 3 取組内容の登録状況

取組内容	取組団体数	取組団体の割合
ノーマイカーによる移動	47団体	66%
エコドライブの実施	67団体	94%
テレワークの実施	22団体	31%

### 4 参加団体の独自の取組

- 公共交通機関を利用した通勤の奨励
- 会議やイベントのオンライン化による移動の削減
- 社員の健康増進の取組み「ウォーキングフライデー（ウォー金）」実施
- 健康増進のウォーキング推進とからめてエコな移動を推進
- 毎週火曜日はエコドライブの実施
- ゼロカーボン・ドライブ（社有車3台）
- 社有車への電気自動車やハイブリッド車，プラグインハイブリッド車の導入  
（アイドリングストップ車も含む）
- 急ブレーキ急発進の防止 など

### 5 広報活動

#### (1) ポスター，チラシ等の掲示配布（継続）

- ①市の公共施設 本庁舎など
- ②公共交通機関
  - ・函館バス 横断幕の掲示9台  
(毎月2週間程度掲示)



#### (2) 広報紙等への掲載

- ①市の広報紙  
広報市政はこだて（9月号，10月号），環境部ニュース（113号（9月発行））
- ②函館商工会議所会報「ともえ」（2月号）

#### (3) 報道機関等を通じた広報

- ①新聞社への報道依頼
- ②ラジオ放送：FMいるか「市政だより」「いるかエコのすすめ」，  
HBCラジオ「市民の時間」
- ③街頭放送（函館時事放声社） ※年間を通して可能な範囲で放送 ※無償協力
- ④フリーペーパー ダテパー2月号掲載（1月末配布）

#### (4) ソーシャルメディア

- ①ごみ分別アプリ「さんあ〜る」（登録数約18,000人）で毎月周知
- ②函館市公式X（エックス）：毎月配信

- (5) 関係団体等への参加依頼
- ①協議会構成団体から関係団体等への依頼
  - ②事務局から関係団体等への依頼
  - ③経済関係団体や協同組合を通じた呼びかけ



- (6) イベント会場等での広報
- ①はこだてエコライフ展 2024  
(11月2日(土)～11月8日(金) /Gスクエア)
    - ・ラジオ番組で、北海道電力ネットワーク(株)道南統括支店 秋山企画総務グループリーダーがはこだてスマートムーブデーを紹介
    - ・のぼり、ポスター、エコドライブに関するパネルを展示
  - ②エコライフキャンペーン(3月1日(土) / 蔦屋書店)
    - ・エコドライブシミュレーター体験コーナーでのぼり、ポスターを掲示

## 6 はこだてスマートムーブデー街頭啓発

- (1) 日 時 9月6日(金) 8:20～8:50
- (2) 場 所 本町交差点
- (3) 実施内容 ドライバーに対し、マイカー使用の抑制やエコドライブについて、のぼりと横断幕を使用して啓発を実施。



## 7 市電無料貸切運行

- (1) 日 時 10月4日(金) 湯の川発着4往復
- (2) 実施内容 車内にスマートムーブデーのポスターを掲示し、事業の情報をアナウンスするとともに、乗客にチラシや啓発冊子などを配付(250部配付)



## 8 はこだてスマートムーブデー参加団体アンケート

- ・調査期間 令和6年(2024年)12月10日～令和7年(2025年)1月16日
- ・調査対象 はこだてスマートムーブデー参加登録団体 68団体
- ・回答団体 34団体(回答割合50.0%)

### <集計結果>

#### (1) スマートムーブデーに参加した理由

- ①環境(地球温暖化対策等)への貢献
- ②健康増進
- ③地域活性化
- ④企業のイメージアップ
- ⑤その他(自由記述)

	回答数	割合
①	27	79.4%
②	1	2.9%
③	4	11.8%
④	2	5.9%
⑤	0	0.0%
合計	34	

参加理由は、①「環境(地球温暖化対策等)への貢献」が約80%と最も多い。

(2) 団体内で、どのくらいの職員が参加（実践）しているか

① 8割以上 ② 6割～8割程度 ③ 半分程度 ④ 2割～4割程度 ⑤ 2割未満

スマートムーブデー参加割合		
	回答数	割合
①	13	38.2%
②	3	8.8%
③	8	23.5%
④	6	17.7%
⑤	4	11.8%
合計	34	

団体内の参加割合は、①「8割以上」が38.2%と最も多い。

○参加者の内、ノーマイカー、エコドライブ、テレワークの取り組みを実践している割合

ノーマイカー実践割合			エコドライブ実践割合			テレワーク実践割合		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
①	5	14.8%	①	16	47.1%	①	2	5.9%
②	3	8.8%	②	5	14.7%	②	3	8.8%
③	3	8.8%	③	5	14.7%	③	1	2.9%
④	3	8.8%	④	3	8.8%	④	2	5.9%
⑤	20	58.8%	⑤	5	14.7%	⑤	26	76.5%
合計	34		合計	34		合計	34	

エコドライブの実践割合は①「8割以上」が47.1%と最も多い一方、ノーマイカーおよびテレワークは、⑤「2割未満」がそれぞれ58.8%、76.5%と最も多い。

(3) ホームページに掲載している「参加団体用啓発ツール」について、利用したものはあるか（複数回答可）

① 事業所（団体）内での啓発用掲示物 ② 社内報（団体会報）や一斉メールでの周知文例  
③ ポスター ④ 自転車リーフレット ⑤ エコドライブ10のすすめ

	回答数	割合
①	16	32.0%
②	11	22.0%
③	13	26.0%
④	0	0.0%
⑤	10	20.0%
合計	50	

④「自転車リーフレット」以外は各ツールとも20%以上の利用があった。

(4) 団体内での参加者を増やすために行っている独自の取組やアイデア（自由記述）

- ・会社説明会において求職者に対し、会社で行っている取組として案内している。入社した社員は、始めから積極的に参加している。
- ・朝礼や社内掲示板での取組み案内および参加促進。
- ・社内イントラネットのスケジュールに登録している。会議等でも周知している。
- ・参加依頼文により市内関係課（室）に参加を依頼。
- ・前日16:00頃に庁内放送により参加を呼びかけ。
- ・定期的に業務用車両の燃費を周知し、エコドライブを推進している。
- ・グループウェア（組織内の掲示板や会議室予約システムなどの機能があるソフトウェア）の掲示板機能を活用して、毎月参加を呼びかけている。
- ・メールで参加を促している。

#### (5) 団体内で取り組む上での課題等（自由記述）

- ・暇な時期と忙しい時期があり、余り積極的に取り組めない時期がある。
- ・通勤手段に限られる都合上、ノーマイカーは実践する職員が少ない。
- ・マイカー通勤以外の選択肢が少ない。（バス等便数の少なさ）
- ・営業員の大半が自動車で活動しているため、ノーマイカーは難しい状況。
- ・ノーマイカーによる移動の促進方法。
- ・早朝勤務者が多いため、事務職員だけでも取り組むよう周知している。
- ・依頼文、庁内放送により参加の呼びかけを実施しているが、機運がなかなか高まらない。
- ・はこだてスマートムーブデーに参加することで環境や地域にどの程度の貢献が出来ているのかを具体的な数字で示せないため、実感が湧きにくい。
- ・スマートムーブを実行するかどうかは個々人の意識に任せるしかなく、個々人がどのくらい取り組んでいるのか全く把握できない。

#### (6) その他、意見等（自由記述）

- ・継続的に取り組むことが大切だと思うし、色々なコンテンツを使って周知することも大切と考える。また、実施期間に限らず常日頃心掛けることもアピールが必要。
- ・毎月の連絡メールが実施日の直前に来るため活用できないことがある。せめて2~3日前にもらえると周知しやすい。
- ・これまで啓発ツールを使っていなかったもので、今後活用していきたい。
- ・年々、会員の高齢化に伴い、運転免許返納や夜間の運転を控える、できるだけ乗り合いするようになってきている。
- ・有意義な事業と思う。引き続き、放送等で呼びかけさせていただく。
- ・交通安全やSDGsに寄与する取り組みであるのもっと情報発信したらよい。
- ・取り組み周知の強化、教育機関×地域商店街×メディアとの連携。
- ・車社会の地方都市において、特に冬季の雪問題を考慮すると、スマートムーブデーを持続的に進めるためには、公共交通機関の充実が不可欠と感じる。（運行時間や本数の延長、公共交通機関の利用促進のためのインセンティブ提供など）これにより、車依存からの脱却が進み、スマートムーブデーの効果が長期的に定着すると考える。
- ・函館バスの割引券等があれば取り組みやすい。

## はこだてスマートムーブデー参加団体一覧表

No.	団体名	No.	団体名
1	(一社) 函館国際コンベンション協会	37	函館市亀田商工会
2	(有) 函館時事放声社	38	函館東商工会
3	函館大谷短期大学	39	(株) 松本組
4	(株) 富士サルベージ	40	北海道教育大学函館校
5	函館商工会議所	41	函館街づくり開発(株) 函館コミュニティプラザ Gスクエア
6	サイエンス・サポート函館	42	ロシア極東連邦総合大学函館校
7	(一社) 函館地区ハイヤー協会	43	(一社) 函館建設業協会
8	北海道ガス(株) 函館支店	44	(一財) 函館市住宅都市施設公社
9	函館地区バス協会	45	(一社) 函館地区トラック協会
10	函館バス(株)	46	(一社) 函館青年会議所
11	(株) アイズ	47	北海道電力ネットワーク(株) 道南統括支店
12	(株) 菅原組	48	(福) かいせい
13	明治安田生命保険(相) 函館支社	49	函館地方気象台
14	(大) 公立はこだて未来大学	50	函館エコライフ推進プロジェクト
15	(公財) 函館市文化・スポーツ振興財団	51	F Mいるか
16	道南清水サッシ(株)	52	北海道旅客鉄道(株) 函館支社
17	生長の家函館教化部	53	函館バス商会(株)
18	函館工業高等専門学校	54	第一環境(株) 函館事務所
19	パソコンショップPCaGOGO(株) リッツ・コンピュータ	55	(株) 北海道銀行函館駅前支店
20	道南いさりび鉄道(株)	56	全水道函館水道労働組合
21	函館短期大学	57	(株) 北海道新聞社函館支社
22	函館市役所職員労働組合書記局	58	函館環境衛生(株)
23	函館朝市協同組合連合会	59	イオン湯川店
24	(株) エスイーシー	60	無印良品シエスタハコダテ
25	函館市女性会議	61	第一生命保険(株) 函館支社
26	(株) 相互建設	62	北海道中小企業団体中央会道南支部
27	北海道労働金庫	63	大丸株式会社道南支店
28	北海道開発局函館開発建設部	64	三井住友海上火災保険(株) 函館支社
29	北海道渡島総合振興局	65	ヴィレッジアンドカンパニー
30	(株) ドコモCS北海道函館支店	66	オカダビル株式会社
31	函館市	67	ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)函館営業所
32	北海道大学水産学部	68	自然倶楽部
33	(株) タクマテクノス北海道日乃出事業所	69	函館都心商店街振興組合
34	(一財) 北海道国際交流センター	70	北海道菓子工業組合 函館支部
35	(一社) 北海道中小企業家同友会函館事務所	71	佐川急便(株) 函館営業所
36	(特非) 南北海道自然エネルギープロジェクト		